

I S O / I E C WG21 (IT Asset Management/IT資産管理)  
WG 2 1 国際会議出席報告書

2017年11月15日

委員会名：SC7/WG21  
報告者氏名（富士通）：高橋快昇

1. 開催場所：レストン（米国）
2. 開催期間：2017.11.7-2017.11.9
3. 参加国数／出席者数：  
参加者：10名（5カ国、2リエゾン、2オブザーバ）、Web参加：10名（3カ国、3リエゾン）  
内訳 NB：米（7）、英（2）、独（1）、印（1）、日本（高橋）、リエゾン：SAMAC）篠田、島田  
TagVault（1）、TCG（2）、BSC（1）、IAITAM（1）、オブザーバ：中国（1）、マレーシア（1）。
4. 審議事項：

コンビナーからの報告

- -1、-2、-3、-4、-5の標準の概況
- ITハードウェアとデバイスに関する処理についてプロセスと情報構造の標準化について検討グループで議論している。取りあえず、プロセスにおける-1とのギャップ、情報構造についてHDPのチームで検討している。
- NWIを-6（ハードウェアとデバイスの識別タグ）、-11（ITAMS監査の要求事項）を行う。
- SGの紹介
- 2017Plenary依頼13名の新メンバー、SerciceNow、Asperaなどの参画。現在WG21は、120+エキスパート、23カ国、7リエゾンに拡大。

19770-1：3<sup>rd</sup> (Requirements) の状況

- DIS投票後のPlenaryでFDISを飛ばし、出版することを要求していたが、ISO/CASCOから問題が指摘された。
- ISOのエディターは、当初、-1をISO 55001のセクタ固有の適用（sector-specific application）であり、表形式に書き直すように指摘してきた。これは、最初のJustificationStudy（ISOも含む）を覆すことであり、ISOエディターが間違っていること。この規格は、ISO 55001:2014の分野固有の拡張（discipline-specific extension）であり、国際標準でのセクタ固有の適用（sector-specific application）ではないことの説明。
- また、CASCOは認証でTierという言葉で「段階的に認証を与える規格」ということであれば、標準に合わない主張してきた。この点は、Tierがグルーピングとして使われており、認証の段階が要求事項でないということで合意した。より誤解のない言葉として、ISMSで使われている「Statement of Applicability」を採用することで調整できた。
- また、これに伴う変更が、技術的な変更となる（したがってFDIS投票が必要）と主張するISOメンバーへ説明で時間を要している。

- この点に関して、技術的な変更ではないこと。投票は必要ないこと。WG21 の総意として ISO に伝えることになった。

#### 19770-3(権利スキーマ)

- 特に進展は無いようだが、Plenary での文書 N1688 ( - 3 のユースケース) へのコメントを John に送るよう WG21 メンバーに要求された。

#### 19770-4

- プロモーションのためプロジェクトエディター Brian Turner に - 4 のブログ記事を要請した。

#### 19770-2, -3, -4 情報構造について

- プロモーションが重要なこと。IOT では、まだ使われていないこと。セキュリティのために電子認証が重要になってくること。などが議論された。

#### 19770-6(ハードウェアタグ)

- 2018 年 5 月の Plenary までに NWIP は出すことに決定した。(エディター : Jason Keogh) 。

#### 19770-8(Guidelines for Mapping of Industry Practices to/from)

- - 8 DIS 投票のコメント処理を行った。

#### 19770-11 (ITAM システム監査の要求事項 Jan Hachenberge)

- 2018 年 5 月の Plenary までに NWIP は出すことに決定した。

#### その他決定事項

- プロモーションの Web サイトの内容をレビューした (N 1723) 。 責任者は、Heather Young であったが、ここ 2 回は参加がない。Anglepoint の Pete Larkin によりこのテキストを修正し、必要に応じて、Peter Beruk と George Arezina が支援する。
- 新たに ISO 19770 規格ファミリのタグをプロモートするための文書を開発する。

#### ISO ITAM 標準アウトリーチミーティング

- これは、ITAM 標準を啓蒙する活動であるが、今回は、米国中心に連邦、州や業界の ITAM や ISMS の活動を行っている人が加わり、啓蒙活動について報告と議論が行われた。WG21 のコッピナー Ron と Tag のプロジェクトエディター Tagvault Steve が中心となって進めた。また、Roche における ITAM の実施状況議論の取り掛かりとして報告された (ITAM world 2017 で報告)。

#### 研究グループ (SG : Study Groups) の状況

CUE (ITAM in a Continuously Updated Endpoint Environment) がなくなり、現状は、以下の SG が活動している。

- ✓ ICEE (ITAM in Cloud Enabled Environment)
- ✓ CRI (Competency Requirement for ITAM)
- ✓ HDP (Hardware and Device Process for ITAM)

## リエゾン報告

- SAMAC（篠田さん報告）が報告した。内容は、ITAM world 2017 の上場とアンケート分析、日本国内の ISO/IEC 19770 標準化状況など
- Tagvault での Tag のプロモート状況の報告があった。Tag の電子署名のガイドラインの公開（→この部分は、SAMAC で作成している日本語版の公開の方法について確認中。）、SWID 作成ユーティリティの作成（Windows 版のみ、理解のための基本的な項目）、電子署名ツールの開発（MITER による検証中）、－ 3、－ 4 との連携促進及び電子承認の－ 3 への拡張について報告があった。

## 中国の状況

- 中国国内の標準化状況が報告された。国内の標準化の体制、活動状況、標準ドキュメントと実施状況、今後のプランが報告された。

## 5. 今後の開催予定

- Interim Meeting : 2017-10-6~10 Washington, DC (確定)
- Plenary Meetings : 2018-05-6~11 Delhi,インド (確定)

以上.